

第34回 関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会 開催結果概要

■日時：令和7年11月17日（月曜日）14時00分から14時40分

■場所：ホテル日航関西空港 1階 鶴の間

■会議の内容：

○大阪府政策企画部長から開催挨拶

○議題

①新飛行経路の運用開始及び環境監視の強化について

事務局から、本年3月20日からの新飛行経路運用開始及びそれに伴う環境監視の強化の実施状況（情報の一般公開、経路外飛行時の情報共有、関係者会議の設置）について報告した。

②航空機騒音等について

関西エアポート株式会社から、航空機騒音や飛行高度の測定結果等について、特に問題となるケースは見られない旨の報告があった。また、苦情・問い合わせについては、今後も誠意を持って迅速に対応していく旨の説明があった。

③「環境面の特別の配慮」の措置状況について

事務局から、平成10年の陸上飛行経路導入の前提条件である「環境面の特別の配慮」について、適切に措置されている状況を報告した。

※報告対象は大阪府域の本年6月までのデータ

○岬町長から、岬町多奈川小島での航空機騒音測定結果は新飛行経路の導入後に低減しているが、北風運用が多くなる冬の運航や、今後の発着回数増加による影響など、まだ懸念材料があることから、引き続き環境監視に注力するよう要望があった。

○和泉市長（泉州市・町関西国際空港推進協議会会長）から、本年3月20日からの容量拡張が順調に進み、大阪・関西万博の成功を支えることができたことへの謝辞と、環境監視の強化の着実な実施、関空と地域の活性化に向けた関係各位の協力を引き続きお願いする旨の発言があった。

○国土交通省近畿圏・中部圏空港課長、大阪航空局長、新関西国際空港株式会社代表取締役社長及び関西エアポート株式会社代表取締役社長CEOから一言ずつコメント